

札幌駅再開発エリアで日本最大級の壁画アート制作が決定！

真っ白な仮囲いを活用し魅力ある空間を創造します

新しいアートカルチャーであるミューラルで札幌の文化・芸術の発展や可能性を表す

ミューラル(壁画)アートを多角的に展開している JAPAN AX PROJECT 株式会社(本社:北海道札幌市、代表取締役:山田 真史)は、北海道札幌市(以下、札幌市)と、札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発組合(以下、再開発組合)の後援の元、札幌駅の再開発エリアで、“魅力ある空間づくりを目的”としたミューラル(壁画)アートプロジェクト(以下、本プロジェクト)を2024年9月4日～9月24日で実施することをお知らせします。

■本プロジェクト概要

プロジェクト名を「SAPPORO ミューラルアートプロジェクト」とし、2024年9月4日～9月24日の期間で札幌駅横北5西1エリアに設置されている仮囲いに日本最大級となる約100mの壁画アートを制作します。

尚、本プロジェクトは、札幌から世界に本気で発信するため国内外で活躍するミューラルアーティスト4名を呼び約3週間もの日程をかけ描くこと、また、札幌駅横という非常にパブリックな場所であるため、安心安全に制作をするために協賛・スポンサー様を募って実施していきます。

■壁画アートプロジェクト実施の背景

ミューラルで街や人々の心をポジティブに。

ますますの再開発が進む札幌市。特に札幌駅エリアは、新幹線開通を見据え多くの大規模な再開発が行われています。しかし、新しい街の誕生を楽しみにするなかで不安も生まれました。

「街が出来上がるまで、無機質な壁に囲まれているよう」

「何か、魅力ある空間を創造できないか」

一方、国内では北海道エリアも含め、少しずつ壁画アートを活用した町おこしが進んでおり、その中で、大きな壁画アートは人々に元気や笑顔をもたらすと感じています。

再開発によってどうしても起きてしまう無機質なプロセスを、巨大な壁画アートという方法でポジティブなプロセスにしていきたいと考えています。

札幌から世界に。このまちの文化・芸術の発展の一助に。

札幌や北海道には他の地域に比べ、広大な土地や自然が多く存在します。そして、観光客も多く訪れるまちです。

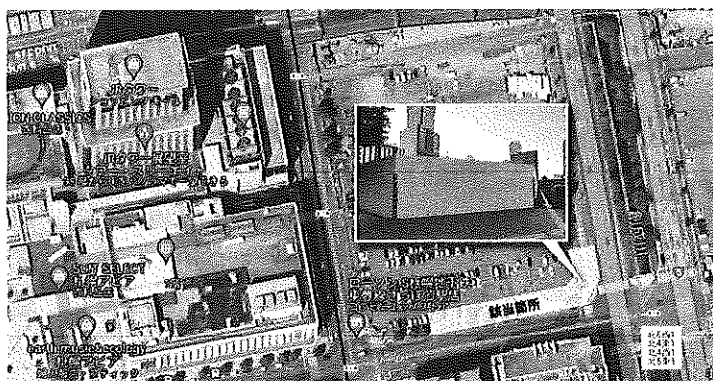
昨今、日本でもトレンド化してきているミューラル(壁画)アート。

土地や環境として北海道は壁画を制作するにはこの上ない場所だとアーティストからよく耳にします。今回の企画では札幌駅横というパブリックな場所であり、そこに新しいアートカルチャーであるミューラルを描くことでこのまちの文化・芸術の発展や可能性を見せたいと考えています。

■制作する壁画アートについて

○制作場所／制作範囲

札幌駅南口横、北5西1地区に設置されている仮囲い(93.2m)



©2024 Google

○制作期間

2024年9月4日～9月24日

※期間、すべての日に制作しているわけではありません

○壁画掲載期間

2026年春頃まで

○制作テーマ

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンの目指すべき都市像である

「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、豊かな暮らしと新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ

を、メインテーマとします。

○参加アーティスト

1: Kensuke Takahashi

2: KAREZMAD

3: WAIF ONE

4: Yusei

○使用する塗料に関して

本プロジェクトで使用する塗料は、協賛スポンサーであるニッペホームプロダクツ株式会社様より廃棄塗料を提供いただきそれをアップサイクルし積極的に活用します。

サステナブルな社会の実現について、壁画アート業界としても率先し取り組んでいきます。

■JAPAN AX PROJECT について(<https://www.axpjt.com/>)

JAPAN AX PROJECT は「アートは、人生を豊かにする。」というビジョンのもと、2022年に立ち上がったアート事業のスタートアップであり、壁画制作を企画からアーティスト選定、制作ディレクションまでをワンストップで提供。

ミューラル(壁画)アートをオフィスや住宅、商業施設、また地域活性など様々なシーンの価値に落とし込む企画力をコアコンピタンスとして、DXと対となるAX(アーティスティック・トランスフォーメーション)を普及。

・代表者: 山田 真史

・設立: 2022年9月

・事業内容: アート事業 企画コンサル業

■報道関係お問い合わせ先

JAPAN AX PROJECT 株式会社 広報担当

E-mail: info@axpjt.com